

及川ふみ	小川正通	鎌田しん
上村哲彌	加賀美日聰	兒玉省
鈴木とく	副島ハマ	高崎能樹
竹田俊雄	多田鐵雄	谷川貞雄
玉越三朗	土屋マサ子	平野恒子
古木弘造	松島正儀	三木安正
村山貞雄	森脇 要	山下俊郎

しかして十月共同研究計畫打合せ會を開いた結果「幼稚園と保育の一元化の研究」について、先ず具體的に研究をすゝめることになり、文獻研究小委員會と意見調査小委員會とを設けた。前者は委員に、山下俊郎氏、多田鐵雄氏、谷川貞雄氏及び村山貞雄を、後者は、委員として山下俊郎氏、竹田俊雄氏、鈴木とく氏、鎌田しん氏及び小川正通氏が委嘱せられた。このうち後者はその活動を活潑に行い、質問書を作製し調査を終り現在調査結果を集計する段階に至つてゐる。

四、その他

第二回大會における發表をまとめて、「日本保育學會第二回大會研究發表號」を「本誌」の特輯號（第四十八卷第七・八號）として發行した。なお事務局は現在も東京都港区麻布盛岡町一愛育研究所におかれてゐる。

（村山記）

幼稚園關係者懇談會

六月二十四日東京都文京區立文京第一幼稚園において、幼稚園關係者の懇談會が午後一時から行われた。

當日の參會者は、文部省側は辻田新局長外六名、東京都教育委員會、區役所側は沼澤主事外三名、幼稚園側はお茶の水女子大學附屬幼稚園主事及川ふみ先生外十五名で、辻田局長の挨拶につづいて山下家政大學教授と木下文京區役所本郷支所教育課長の挨拶があり、文部省玉越事務官の進行、山下氏の司會で主として幼稚園の教育内容の問題、教員の待遇及び養成の問題幼稚園普及の問題等について懇談が行われた。例年がない暑さにもかかわらずなごやかなうちに、熱のある意見が交され、午後四時文部省初等教育大島課長、文京第一幼稚園板橋園長の終りの挨拶で盛會裡に會を終つた。

こどものレクリエーション指導者講習會

去る七月十五日（土）より四日間、茨城縣の西山文化研究所に於て標題の會合が催おされた。

參加者は兒童福祉施設の職員と子供會の指導者が大部分で保育所の職員も約十名程參加した。西山文化研究所は茨城縣太田町の郊外にある西山莊の山つづき、松林の丘の上にあり講習生は樹下のあけくれに、子供の自然の生命の發展を思いつつ講義をきき、實技をならひ、ディスプレイををし

た。こどものレクリエーションといつても幼児から少年に及ぶ広い範囲の児童を対象としたものであるが、レクリエーションの理念をはつきりつかむことが幼児の指導の上に大きな効果を與えられるものであると思う。

要目左の通り

- 一 要點 児童福祉施設 PTAその他児童を中心として行うグループ・ワークの實際と理論を夏のレクリエーションを主としてその技術を指導者に體得させ児童の福祉に役立てるために講習會を行う。

二 主催 厚生省児童局、日本社會事業協會、茨城縣、茨城縣兒童福祉協會

三 後援 日本放送出版協會、日本女性文化協會、保育醫學研究會
レクリエーション研究會

四 企畫 児童福祉施設従事者、こども會、PTA等の指導者その他
五 對象 児童福祉施設従事者、こども會、PTA等の指導者その他
他のこども關係の指導者

六 人員 八〇名

七 場所 茨城縣久慈郡佐竹村、西山文化研究所

八 期間 七月十五日(土)より十八日(火)まで三日泊四日
九 課目及び講座

- (一) 夏休みをどう過ごすか 早大心理學教授 戸川行男
- (二) 綠蔭こども會 共同募金委員會主事 小野 顯
- (三) 家庭とレクリエーション 厚生省児童局 吉見靜江
- (四) レクリエーションと醫學

(五) レクリエーションと精神衛生 保育醫學研究會委員長醫學博士 砂田 惠一

慶大神經科醫局員 相場 均

(六) キャンプ、プログラム 東京レクリエーション協會理事長 三隅達郎

(七) テント生活とレクリエーション 日本社會事業協會事業部長 根岸貞太郎

(八) 水泳、ボート、ハイキング 日本社會事業大學講師 垣内芳子

(九) 樂しめる手仕事 野尻學莊リーダー 河野由夫

(十) レクリエーションの指導者 日本社會事業大學講師 垣内芳子

(十一) デイスカツション a 夏期轉住と季節保育 日本社會事業協會兒童課長 三野 亮

b 聽視覺教育 日本放送出版協會 西崎大三郎

(十二) 實 技 (a)グループ、ソング(b)ゲーム(c)フオークダンス (d)スタント(e)キャンプファイアー(f)救急法(g) テント生活の實際(h)デイスカツション